



①第5回上田市議会主催「議会報告会」

②野党共闘の維持発展

メールアドレス: masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 《部内資料》
【わたなべ正博後援会】

【田舎の経済学】を学べる環境をつくらないと

持続可能な地域は保証できない

資本主義の限界を感じる
(幻想のアベノミクス)

*市内小規模事業者…バブル崩壊以降メーカーから執拗に単価引き下げが求められ、従わざるをえない現実がある。

簡単と言うと10円だったものが今は6円、しかし材料は値上がりしている。もう限界かなり。せめて10円に戻してもらいたいというのが率直なおもいです。

一部の大企業だけが大きな利益を上げる、その利益がわれわれのところにもこぼれ落ちてくるといわれたが、未だにそれはなく格差が広がるばかり…。資本主義の限界ではないのか。

実態の

深掘りを望む

*中小企業家同友会…上田市経営実態調査について見たが

議会報告会(テーマ別車座集会)は「真田丸放送後の商工業の振興」で商業関係者と工業関係者を分けて行い 私は工業関係者のみなさんと意見交換「産業水道委員会」



10/25 上田駅前ビル・パレオ

深掘りしていない…。愛媛県東温市では、調査項目を考える段階で経済関係団体や専門家と一緒にアンケート項目から考えている。

上田市商工業振興プランの中で検討

ない「それは、市内中・小の事業所であることを」。就職を前にした生徒に地元の中・小の事業所を斡旋しない、結果若者の雇用がかなわず高齢化が進むだけ。小学校から教育現場で地域の産業について教えるべきです。

*市内小規模事業者…地域(地元)の中小企業がなぜ衰退しているのか…。ひとつの大きな理由に教育現場で地域経済を支えているのは誰なのか教えてい

*上田市の中小企業振興基本条例の制定については、どうなっているのか、進んでいるのか…。(等々)私は、一時関わりを強めた中小企業家同友会のみならずとの関係がこの間、疎遠になっていたことを反省させられました。田舎の経済学を学べる環境をつくらないと持続可能な地域は保証できない。長野大学環境ツーリズム学部にも期待したい。

くらし・困りごと
なんでも相談
気軽に声をかけてください

わたなべ正博のノート

- 2日 姉妹都市「豊岡市訪問」4日まで
- 5日 モルティイ塩田街演
- 6日 下之郷9班日帰り親睦旅行
- 7日 浅間池代表会
- 7日 上田駅前モーニングスピーチ
- 7日 議会代表者会
- 7日 生活相談
- 8日 視察対応「観光産業振興議員連盟」
- 8日 「北見市含め3つの議会」
- 9日 社会福祉協議会合併10周年
- 9日 東塩田地域土木要望現地調査
- 10日 党市議団会議
- 10日 敬老園へ
- 11日 塩田地区福祉大会
- 12日 党塩田西後援会「収穫祭」
- 12日 長野大学五十周年記念
- 13日 長野大学五十周年シンポ
- 13日 晴夫ちゃん誕生日
- 14日 生活相談
- 14日 鎌倉市議会との意見交換会
- 15日 会派視察18日まで
- 16日 モルティイ塩田街演
- 19日 上田市消防団合併10周年
- 20日 生嶋足島神社境内清掃
- 21日 浅間池水利費徴収
- 21日 消防団定期演奏会
- 21日 金剛山歌舞団公演
- 21日 上田市功労者表彰式
- 21日 リサーチパーク組合意見交換会
- 22日 生嶋足島神社「新穀感謝祭」
- 23日 上小地区原水協総会
- 23日 民商塩田支部会議
- 24日 下之郷支部総会
- 25日 「桜ライン31」陸前高田市へ27日
- 28日 12月議会開会
- 29日 【15:00質問通告・請願・陳情へ切】
- 30日 あゆみ保育園理事会

【11月】

(11月11日現在)

090-1554-2698

参院選の結果を見ても野党共闘の威力と効果は明瞭です それを維持し発展させていくことが今後の大きな課題

一致点を探して共闘するというのが基本の「キ」

衆院選で綱領や政策が異なる政党と政権を目指すこととはない・・・「神津里季生連合（日本労働組合総連合会）会長」は言います。

しかし、これは理論的にも実践的にも間違っています。理論的に言えば、綱領や政策が異なっているからこそ、一致できる部分に限って行動を統一するわけです。

この統一戦線論の基本が理解されていません。連合政権にしても同じです。別の政党ですから綱領や政策が異なっているのは当たり前ですが、そのような政党が共通の目標や一致する政策の実現を目指して手を結ぶのが連合政権ではありませんか。

今の政権も連立

神津さんのように言ったら単独政権しかあり得ず、連立政権は存在できなくなってしまう。

しかし、2009年に発足した鳩山連立政権は綱領や政策が異なった民主党・社民党・国民新党によるもので、今の安倍政権だって綱領や政策の異なる自民党と公明党による連立政権です。

綱領や政策が違うのは当たり前前

このような連立政権は世界では当たり前前のことです。

「別の政党だから」「綱領や政策が違うから」などといって政党間の選挙共闘や政権連合を否定するのは、連合政権の理論についても実態についても無知であることを告白するに等しいものです。「違うのは当たり前前」でも力を合わせなければ勝てない」「だから一致点を探して共闘する」というのが、基本です。

付け加えれば、民進党と共産党など野党との間には政策的な共通点が存在しています。だからこそ参院選での共闘が実現しました。

「一強多弱」の壁を突き崩せる妙案

2月の「5党合意」、選挙前の通常国会に野党共同で提出された15本の法案、6月の市民連合と野党4党との合意、1人区での選挙協定や確認事項などによって積み重ねられた一致点は、政権を共にすることによってこそ実現できるものではないでしょうか。



上田市議会森林林業林産業活性化議員連盟行政視察（安曇野市）10/14

人類は害虫との戦いにおいて、これまで種を絶滅させる成果を納めたことはありません。空中散布により被害を抑えることができても、被害を根絶することは出来ず、マツタケ生産の増殖につながるには言い切れません。

（上小地方事務所林務課資料より）

「真田丸」の舞台を訪れていただき上田市の行政水準全体を視察してほしいと全国の地方議会に呼びかけました



今年だけですでに全国60以上の議会から行政視察があります「おもてなし議員隊27名」

長男の親友（桑野裕さん）が始めた「足もみ・整体」は川西小学校のそば



めぐり屋「足もみ・整体」

私のお気に入り「シロ・カワ」持病には良くないが美味しい



やきとり ぶつちゃん

photo



ゆきこ・シーサー・まさひろ

長女の沖縄土産